

クリニカルクエスチョンに答える ～臨床は基礎の延長



ZOOMウェビナーによるWEB配信 (事前登録制 : 裏面参照)

特別夜

2024年 **4**月 **13**日 (土) 19:00～20:30

ホスト

鈴川 雅彦 先生

AICデンタルクリニック 院長



**リグロス『使ってみる』から『できる』へ
～開発から将来像まで一気見～**

ゲスト

村上 伸也 先生

大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学講座 教授



参加登録および当日視聴方法

リグロス カフェ(特別夜) 4/13(土)

事前登録URL: <https://00m.in/OgjHj>



リグロス カフェ (特別夜)

日時 2024年4月13日 07:00 PM、大阪、札幌、東京
説明 クリニカルエクステンションに答える-臨床は基礎の延長

ウェビナー登録

名* 姓*
メールアドレス*
都道府県*
病院名・クリニック名*
病院・クリニックの電話番号(要ハイフン)*
資格*
 医師・歯科医師
 歯科衛生士
 歯科技工士
 その他
リグロスの使用経験はございますか。*
 はい
 いいえ
登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を規約とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。
当社では、ご記入/ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取り組み」に従い、取り扱います。内容をご確認いただき、同意のうえ、次にお進みください。

登録

上記に記載のセミナーのURLまたはQRコードより参加登録ページにアクセスしてください。

必要事項を入力いただき、登録ボタンを押してください。登録後、当日参加用のURLがメールにて送付されます。

ご登録いただくメールアドレスは、携帯電話のメールアドレス(docomo.ne.jp、softbank.ne.jp、ezweb.ne.jpなど)の場合、当日参加用のメールを受信できないことがありますので、PC用のメールアドレスをご登録ください。

7日前、前日、当日1時間前にリマインドメールが届きます。

Webセミナー当日は、メールの「ウェビナーに参加」または参加用リンクをクリックして参加をお願いします。

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂に十分ご注意ください。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

4. 効能又は効果

歯周炎による歯槽骨の欠損

5. 効能又は効果に関連する注意

- 5.1 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
- 5.2 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。
- 5.3 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

6. 用法及び用量

歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

7. 用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては「17.臨床成績」の項を参照し適切な量を用いること。[17.1.2 参照]

8. 重要な基本的注意

本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹、硬結、肥厚
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中NAG上昇、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇	AST上昇、CRP上昇、ビリルビン上昇、CK上昇、ALT上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、総蛋白上昇	単球増多、白血球減少

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。



歯周組織再生剤
トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤

リグロス[®] 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g
REGROTH[®] Dental Kit 600 μ g/1200 μ g

薬価基準収載

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元
[文献請求先及び
問い合わせ先]



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

2023年10月改訂(第1版)